

海外事情研究所 所員研究会
書評会

巽 由樹子

ツアーリと大衆

近代ロシアの読書の社会史

評者：篠原 琢（本学教員）

リプライ：巽 由樹子（本学教員）

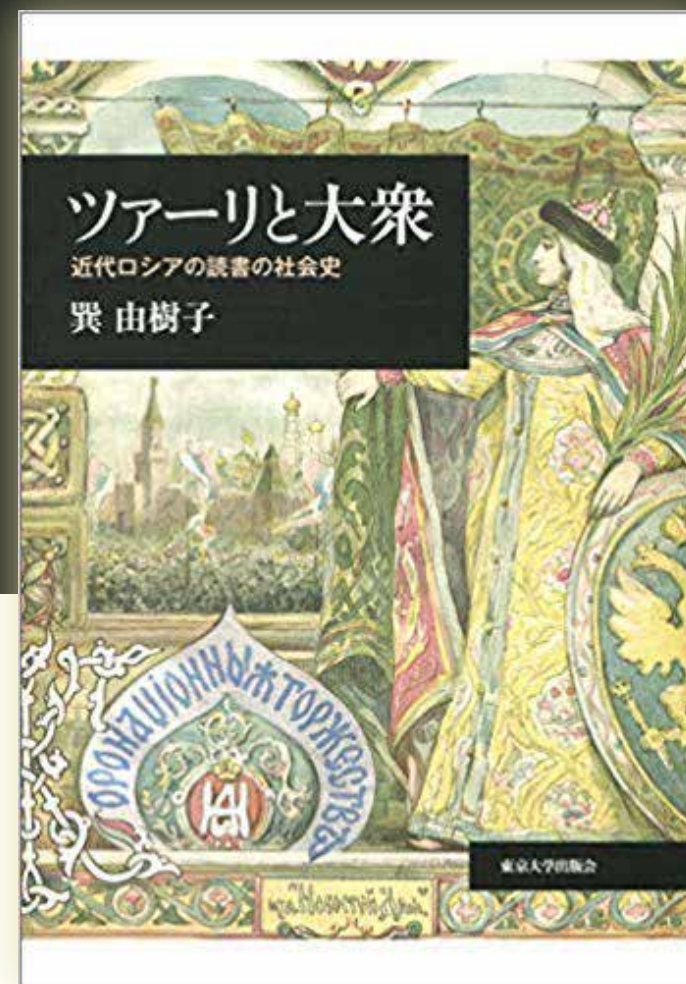


日時 2019年7月30日（火）14:00～17:00

場所 東京外国語大学海外事情研究所会議室（研究講義棟 427 号室）

主催 海外事情研究所（お問い合わせ ifa@tufs.ac.jp）

共催 科研（基盤 B）『ロシア・ウクライナ・ベラルーシの交錯
— 東スラブ文化圏の領域横断的研究』（代表：沼野恭子）



本書について

絵入り雑誌と呼ばれる薄手の週刊誌が次々と発行された19世紀末のロシア社会。新しいメディアを享受した読者とは誰か。読者の変遷がもたらす文化の変容こそが、農奴制廃止や教育改革などの大改革から革命に至る騒擾という歴史の転換点につながることを明らかにし、近代ロシア像に再考をうながす。